

# こんにちは婦人会「さくら」です

朝夕の凍てつくような北風が肌身にしみるこの頃、寒さに加えて空気の乾燥した日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ノロウイルスを中心とする感染性胃腸炎やインフルエンザが流行していると、テレビで報道されています。うがい、手洗い、体調管理にはくれぐれもお気を付け下さいませ。さて、今年も婦人会「さくら」主催のふれあい会食会・生き生きサロンは、多くの方の力で支えられ活動ができました。会員一同心より感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願い致します。

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

先日のボランティア活動でのこと、3歳くらいの子供に「サンタさんはなぜ赤い服を着ているの？」と聞かれて困りました。そこで、例のごとくネットで調べてみました。由来は、現在のトルコに実在した聖ニコラウスと呼ばれる司祭だといわれています。その司祭が儀式の時に着ていた服が赤だったから、という一説があります。現在のサンタクロースは、1930年代にアメリカで、コカコーラ社が広告に自社のイメージカラーである赤と白でサンタクロースを描いたのが始まりと言われている。コカコーラ社のスウェーデン人画家で、ハドン・サンドブロムという人が描いたそうですが、その人間味溢れる表情やしぐさは、たちまち人々の心をとらえたそうです。それまでの、サンタクロースの服の色はバラバラで、現在のサンタのイメージとはかなり違っていたようです。（インターネット引用）



さて、子供になんて説明しようかしら・・・



桜台婦人会「さくら」  
平成24年12月23日  
第131号